

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		通常砂防事業 きたたに 北谷川	多可町加美区 やまのべ 山野部	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
多可町加美区山野部				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H=8.0m, L=50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	・(一)加古川水系山野部谷川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、多数の転石(0.6~1.2m)も存在しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口には人家が集中しており、土砂災害の危険性が高い。				
(保全対象等の状況)	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ300m、最大幅300m程度)に及ぶ。 ・人家46戸、山野部地区総合センター(避難所)、町道(約1,400m)				
(2)有効性・効率性 (効果)	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制を整備することにより、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
(事業執行環境)	・地元は事業に協力的であり、工事用道路についても理解を得られており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・保全人家が多く、また避難場所の安全確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

きたたにがわ  
北谷川  
[多可町]

